

大和郡山 防災ニュース 30. 7月

このニュースは、市内で防災に関わる住民の皆さんに、動きや情報を提供します。

豪雨により、避難指示・勧告発令！

今月6日、7日と2日間で200mmを越える雨が降り、佐保川の水位が上昇し、地蔵院川や市内の中小河川は堤を越水しました。

このため、6日未明から朝にかけて、洪水や土砂災害を警戒した避難情報の伝達のため、緊急速報メール、市民安全メールをその都度発信しました。

※避難情報の発令と避難状況

6日 午前2時40分

佐保川・地蔵院川が危険水位に達したため、流域10町に避難準備・高齢者避難開始情報を発令し、避難所として、南部公民館、平和地区公民館、DMGMORI やまと郡山城ホール、市民交流館を開設しました。

午前3時00分

避難所として、筒井小学校、郡山東中学校、昭和地区公民館、昭和小学校を追加で開設しました。

午前3時25分

地蔵院川に氾濫の恐れが生じたため、流域3町に避難勧告発令

午前3時30分

土砂災害の恐れが出てきたため、矢田山麓2町に避難準備・高齢者避難開始情報を発令し、避難所として、矢田コミュニティー会館を開設しました。

午前4時00分

小河川の氾濫の恐れが出てきたことから、郡山地区北部市街地4町に避難勧告を発令し、避難所として、郡山北小学校を開設しました。

午前6時10分

土砂災害の恐れがさらに高まり、矢田山麓4町に避難勧告を発令し、避難所として、矢田南小学校を追加しました。

午前7時10分

矢田山町の灌漑用ため池の堤防に決壊の恐れが発生し、下流の矢田町、新町の11世帯、26名に避難指示を発令しました。

上記の避難準備・高齢者避難開始情報、避難勧告は、6日午前12時までに解除し、午前7時10分発令の避難指示については、ため池

の水位を下げて安全を確認できた8日午後5時に解除されました。

避難者数が最も多かったのは、6日午前6時30分頃で、10避難所で13世帯、25名でした。避難指示が3日間続いた矢田町、新町の11世帯の至近避難所である矢田コミュニティー会館では、3日間で延べ7世帯20名が避難されました。

※市内の主な被害状況

- ①死者1名
 - ②床下浸水15軒
 - ③ため池堤防の一部損壊2箇所
- その他、道路の一部損壊、道路冠水、農地の畦の崩れ等市内各所

※避難所体制の構築について

災害時、市民の皆さんの拠り所となる避難所。現在、市ではいざという時の避難所の円滑な運営を目指し、今年11月の筒井地区を皮切りに、避難所開設運営の訓練を通じた地元役員様との避難所体制の協議進めてまいります。このほか下記のような整備を進めました。

①避難所毎の担当職員の決定

昨年より、公民館、小・中学校等市内40箇所の避難所毎にいざという時の担当市職員を決めています。また、メールによる招集体制の整備等、必要な時にできるだけ短時間に避難所開設できる体制づくりを進めています。

②公民館、中学校に基本的な備蓄品を配備しました

従来、市内9箇所の防災倉庫と小学校に備蓄品を配備してまいりましたが、今年度より市内各公民館と中学校に水、食料、毛布といった基本的な備蓄品を配備いたしました。

もちろん、避難所は自宅のような快適な場所ではありませんが、今回、避難所への避難を躊躇された皆さんにも、今後は身を守る行動を取っていただける場所とお考えいただけますようお願いいたします。

大和郡山防災ニュースは、市のHPでもご覧になれます

大和郡山防災ニュース	検索
------------	----

↗

消防団のニュースは、『大和郡山市消防団へようこそ!』をご覧ください!

大和郡山市消防団へようこそ	検索
---------------	----

↗

発行人 市役所市民安全課